令和６年度用小学校音楽

第６学年　年間学習指導計画作成資料（2024. 3. 8）

株式会社 教育芸術社

【本資料について】

・本資料は、弊社発行の令和６年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽１～６ 〈104～604〉」に基づいて作成しています。

【「題材の目標」について】

・各学年の題材の目標は、学習指導要領（平成 29 年告示）に示されている、育成を目指す資質・能力の三つの柱、

（１）「知識及び技能」の習得に関する目標

（２）「思考力、判断力、表現力等」の育成に関する目標

（３）「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関する目標

の視点に基づいて作成しています。

（１）について、文章の前半では表現及び鑑賞の知識に対応する内容を、後半では表現の技能に対応する内容を示しています。

【「扱い月の目安」について】

・本資料で示されている扱い月は目安となります。３学期制と２学期制それぞれ示しておりますので、各校の実態に応じて、指導される学期や月を調整のうえ、ご活用ください。

【「扱い時数」について】

・教育課程で標準とされる授業時数に即し、各題材や「みんなで楽しく」などの巻頭・巻末教材も含めたかたちで、扱い時数を設定しています（中学年は巻頭・巻末教材を除く）。

・巻末教材に配当された時数については、巻末教材を本文中の題材と関連付けて取り上げる場合や、授業時数に調整の必要が生じた場合などにおいて、扱い時数を調整するためにご活用ください。

・国歌「君が代」につきましては、『国歌「君が代」は、いずれの学年においても歌えるよう指導すること。』と示された学習指導要領の趣旨にしたがい、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。

【「学習指導要領の内容との関連」について】

・弊社発行の「小学生の音楽」教科書の題材構成において、各題材は、「何を中心に学習し、どのような子供の資質・能力を育てるのか（＝どのような観点で評価するのか）」という目標にそって教材を配列しています。

・「Ａ表現」⑴歌唱、⑵器楽、⑶音楽づくりのア、イ、ウの各事項、「Ｂ鑑賞」のア、イの指導事項は、 各題材内の中で〔共通事項〕を要として教材どうしがつながり、ときに往還し関連しながら、指導できるように配慮しています。

・学期ごとや１年間を通して、各観点がバランスよく位置付けられ、題材間の関連が図られているか、という視点にも配慮しています。

・それらを踏まえ、【評価に関わる】指導事項を◎で記し、それ以外の【学習を進めるうえで関わる】指導事項を〇で記しています。

・〔共通事項〕に示している音楽を形づくっている要素において**太字**で記しているものは、題材内で中心となる要素を示しています。

第６学年　年間学習指導計画作成資料

学習指導要領の内容との関連（ア：思考力、判断力、表現力等　イ：知識　ウ：技能　に関する資質・能力）

【第５学年及び第６学年 目標】
(1)曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
(2)音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
(3)主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

扱い月の目安		扱い時数 合計50	題材名	題材の目標 (1)「知識及び技能」の習得 (2)「思考力、判断力、表現力等」の育成 (3)「学びに向かう力、人間性等」の涵養	学習目標	教材名 ○…歌唱　◇…器楽　☆…音楽づくり　♪…鑑賞 (共)…共通教材	A表現 歌唱 ア	歌唱 イ	歌唱 ウ (ア)	歌唱 ウ (イ)	歌唱 ウ (ウ)	器楽 ア	器楽 イ (ア)	器楽 イ (イ)	器楽 ウ (ア)	器楽 ウ (イ)	器楽 ウ (ウ)	音楽づくり ア (ア)	音楽づくり ア (イ)	音楽づくり イ (ア)	音楽づくり イ (イ)	音楽づくり ウ (ア)	音楽づくり ウ (イ)	B鑑賞 鑑賞 ア	鑑賞 イ	〔共通事項〕 ア 音楽を形づくっている要素	イ 音符、休符、記号や用語
年間		2	巻頭			音楽は人間の命の一部です (山田和樹さんからのメッセージ)																					
				心をつなぐ歌声	年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりするための教材。	○つばさをください	○	○	○	○	○																
4 5	4 5	5	1. 歌声をひびかせて心をつなげよう	(1)曲想と音色や旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱の技能を身に付ける。 (2)音色、速度、旋律、強弱、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3)曲想や歌詞に込められた気持ちを味わって、歌声に気を付けながら表現を工夫する学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み、友達と声を合わせて歌うことを楽しむ態度を養う。	・明るくひびきのある声で歌いましょう。	○ペガサス	◎	◎	○	◎	◎															**音色** 速度 **旋律** 強弱 フレーズ	速度記号
					・歌詞の表す情景を思いうかべながら、曲想にふさわしい歌声で歌いましょう。	(共)おぼろ月夜	◎	◎	◎	◎	◎																
6 7	6 7	7	2. いろいろな音のひびきを味わおう	(1)曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わり、多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり、いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴や、音のつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、器楽の技能や、音楽の縦と横との関係などの音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについてや、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)いろいろな音色が重なって生まれる響きを味わいながら聴いたり表現したりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な楽器の音色やオーケストラの響き、声の響きに親しむ。	・オーケストラのひびきを味わいながらききましょう。	♪木 星																		◎	◎	**音色** リズム 旋律 音の重なり 反復 変化 音楽の縦と横との関係	
					・パートの役割や楽器の音色の特徴を生かして合奏しましょう。	◇ラバーズ コンチェルト						◎	◎	◎	○	◎	◎										
					・声のひびきが重なるおもしろさを生かして、音楽をつくりましょう。	☆ボイスアンサンブル												○	◎	◎	◎	○	◎				
9 10	9 10	9	3. 和音のひびきや音の重なりを感じ取ろう	(1)曲想と和音の響きなどの音楽の構造との関わり、音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能、各声部の歌声や楽器の音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能、音楽の縦と横との関係などの音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。 (2)旋律、音の重なり、和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについてや、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3)和音の響きの移り変わりや音の重なりを感じ取って歌ったり演奏したり、旋律をつくったりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、音楽づくりの学習活動に取り組み、様々な音楽にみられる和音の響きや音の重なりに親しむ。	・歌声が重なり合うひびきを感じ取りながら合唱しましょう。	○星の世界	◎	◎		◎	◎															旋律 音の重なり **和音の響き** 調 音楽の縦と横との関係	
					・和音のひびきの移り変わりを味わいながら演奏しましょう。	◇雨のうた						◎	◎	○	○	◎	◎										
					・旋律をつなげたり重ねたりして音楽をつくりましょう。	☆「雨のうた」の和音で旋律づくり													◎		◎		◎				
		4	4. 曲想の変化を楽しもう	(1)曲想及びその変化と、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2)リズム、速度、旋律、強弱、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)曲想の移り変わりを味わいながら、歌ったり聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽にみられる曲想の変化を味わう。	・曲想の移り変わりを味わいながら、思いをこめて歌いましょう。	○思い出のメロディー	◎	◎	○	◎	◎															リズム 速度 旋律 **強弱** 調 フレーズ 反復 変化	
					・曲想の移り変わりを味わいながらききましょう。	♪ハンガリー舞曲 第５番																		◎	◎		

11 12	11 12	7	5. 詩と音楽との関わりを味わおう	(1)曲想及びその変化と、旋律や強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2)旋律、強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)歌詞と旋律との関わりが生み出す曲想を感じ取りながら聴いたり歌ったりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽にみられる詩と音楽との関わりを味わう。	・言葉と旋律の美しさを感じ取りながら、 日本の歌を味わいましょう。	♪花																		○	◎	音色 リズム 速度 **旋律** **強弱** 音の重なり フレーズ 変化	
							♪箱根八里（参考曲）／ 荒城の月（参考曲）																	◎	○		
					・人々が大切にしてきた歌を味わい、 思いが伝わるように歌いましょう。	(共)ふるさと	◎	◎	○	◎	◎																
					・歌詞と曲想との関わりに気を付けて 歌いましょう。	(共)われは海の子	◎	◎	○	◎																	
1	1	4	6. 日本や世界の音楽に親しもう	(1)曲想及びその変化と、音色や旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能や、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、旋律、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、日本に古くから伝わる歌の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、日本や世界の音楽や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)日本や世界の音楽の特徴を感じ取りながら歌ったり聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組み、日本や世界の音楽に親しむ。	・日本に古くから伝わる音楽に親しみましょう。	(共)越天楽今様	◎	◎	◎	◎																		**音色** リズム **旋律** 音の重なり	
						♪雅楽「越天楽」(参考曲)																		◎	◎		
					・世界のいろいろな国の音楽に親しみましょう。	♪世界の国々の音楽																		◎	◎		
2 3	2 3	9	7. 音楽で思いを伝えよう	(1)曲想と旋律や音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、強弱、音の重なり、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 (3)曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、音楽で思いを伝える活動に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組み、聴き手を意識して音楽表現に取り組む態度を養う。	・曲想を生かして表情豊かに歌いましょう。	○きっと届ける	◎	◎	○	◎	◎																	音色 **旋律** 強弱 **音の重なり** フレーズ 呼びかけと こたえ	
					・気持ちを合わせて、 美しいひびきで演奏しましょう。	◇メヌエット						◎	◎	○	◎	◎	◎										
					・曲想の変化を生かして、 豊かなひびきで歌いましょう。	○街にだかれて	◎	◎	○	◎	◎																
年間		3	巻末	歌いつごう 日本の歌	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	夏は来ぬ／浜千鳥	○	○	○	○	○															全般	
				みんなで楽しく	各校の実態に応じて、 弾力的に扱うことのできる教材。	Wish ～夢を信じて	○	○	○	○	○																
						いのちの歌	○	○	○	○	○																
						明日という大空	○	○	○	○	○																
						星空はいつも	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
						Edelweiss	○	○	○	○	○																
						あおげばとうとし	○	○	○	○	○																
						旅立ちの日に	○	○	○	○	○																
						そよ風のデュエット						○	○	○	○	○	○										
						木 星						○	○	○	○	○	○										
						風を切って	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
						Paradise Has No Border						○	○	○	○	○	○										
※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。						国歌「君が代」	○	○	○	○	○																